



## 令和7年度国立市市民表彰 教育文化功労



大和 祥郎氏

平成26年に有志で国立市スキー・スノーボード連盟を設立し、競技の普及・振興と安全安心な雪上スポーツの推進に取り組んでいます。大会の運営やスキー教室、春スキーの支援等を通じて、世代を超えた交流を育みながら、健全なスポーツ文化の発展に貢献しています。

### “誰もが、いつからでも親しめる” スキー・スノーボード

スキー・スノーボードをはじめられたきっかけを教えてください

スキーのきっかけは、小学校時代に家族で長野のスキー場に行ったのが始めです。

中学校のクラブ活動でスキー部に入部し、中・高校とスキー部で活動をしていました。一方、スノーボードは、29歳頃に体験した程度です。

国立市スキー・スノーボード連盟に加入されたきっかけを教えてください

スキーは、中・高、社会人になつてからも行っていました。現在の連盟、田中会長より、市内でスキーやスノーボードを楽しめるクラブを立ち上げたい旨のお誘いがあり、平成26年(2014年)、有志により連盟を発足しました。技術の習得や子どもから大人まで安全に楽しめる指導機関として連盟を設立し、設立時からチャーターメンバーです。

連盟や国立市スポーツ協会ではどのような活動をされていますか

国立市スキー・スノーボード連盟では、顧問を務めています。連盟の活動では、12月の初滑りから2月の市内のスキー教室、都民大会、市民大会やバッチテスト(スキー検定)、春スキー等12月から4月末ぐらいまで、親睦と

技術向上に向けて活動しています。国立市と姉妹都市を締結している北秋田市との交流も行っており、現在では市民大会を北秋田市のスキー場で開催しています。

令和7年より、国立市スポーツ協会の副理事長兼広報部長となり、協会の運営に携わっています。

スキー・スノーボードという競技の魅力を教えてください

スキー・スノーボードの競技の魅力は、それぞれにカテゴリー分けされており、自身のスタイルを楽しめることだと思います。前提ですが、競技として行う以前に、スポーツとして楽しんでスキー・スノーボードを行うことが重要と思っています。スキーでは、アルペン競技とクロスカントリーは、スラローム、大回転、滑降、ジャンプ。一方、クロスカントリーでは、雪上のマラソンであり、山を登ったり滑ったりする距離競技です。連盟は、東京都スキー・スノーボード連盟の配下として公認された団体として安全安心に活動しています。

地域におけるスキー・スノーボード競技の今後についてどのようにお考えですか

連盟では、競技の魅力を伝えて

行くことも大事ですが、誰もがいつからでもスキー・スノーボードを安全安心にスポーツとして、またレジャーとしても楽しめる団体を根底に、メンバー相互の技術アップや親睦の向上、そして市内スキー教室を通じて、青少年育成やスキー・スノーボード人口を増やしていきたいと思っています。

その他、ございましたらお願いします

この度は、素晴らしい表彰を賜りありがとうございました。今回の表彰を契機に、国立市民に恥じないよう、スキー・スノーボード連盟、国立市スポーツ協会の活動を通じて自己の努力研鑽並びに精進して参ります。よろしくお願いたします。



▲『令和7年11月3日市民表彰式典』

表彰状授与の様子

※本原稿は、令和7年12月時点の情報に基づいて、作成しています。